

TAKEFREE

手 私 事

0 4

原
回点
帰

○この冊子に使用している写真は著作権法上、無断転載・使用を禁じられています。


PROSOL

SHOP LIST

広島県内に7店舗展開。お気軽にご来店ください。

PROSOL 山本店	広島市安佐南区山本1-8-19	TEL.082-874-9900
PROSOL 五日市店	広島市佐伯区五日市駅前2-18-1	TEL.0120-39-6797
PROSOL 大町店	広島市安佐南区大町西1-4-38	TEL.082-831-5205
PROSOL COCORO店	広島市安佐南区伴南1-5-18-8西風新都ゆめビル102	TEL.082-848-5020
PROSOL 廿日市店	廿日市市平良山手10-33	TEL.0829-30-8670
PROSOL calme	広島市南区宇品西3-1-53 1F	TEL.082-567-5696
RAUM by PROSOL	広島市南区宇品西3-1-53 2F	TEL.082-567-5699

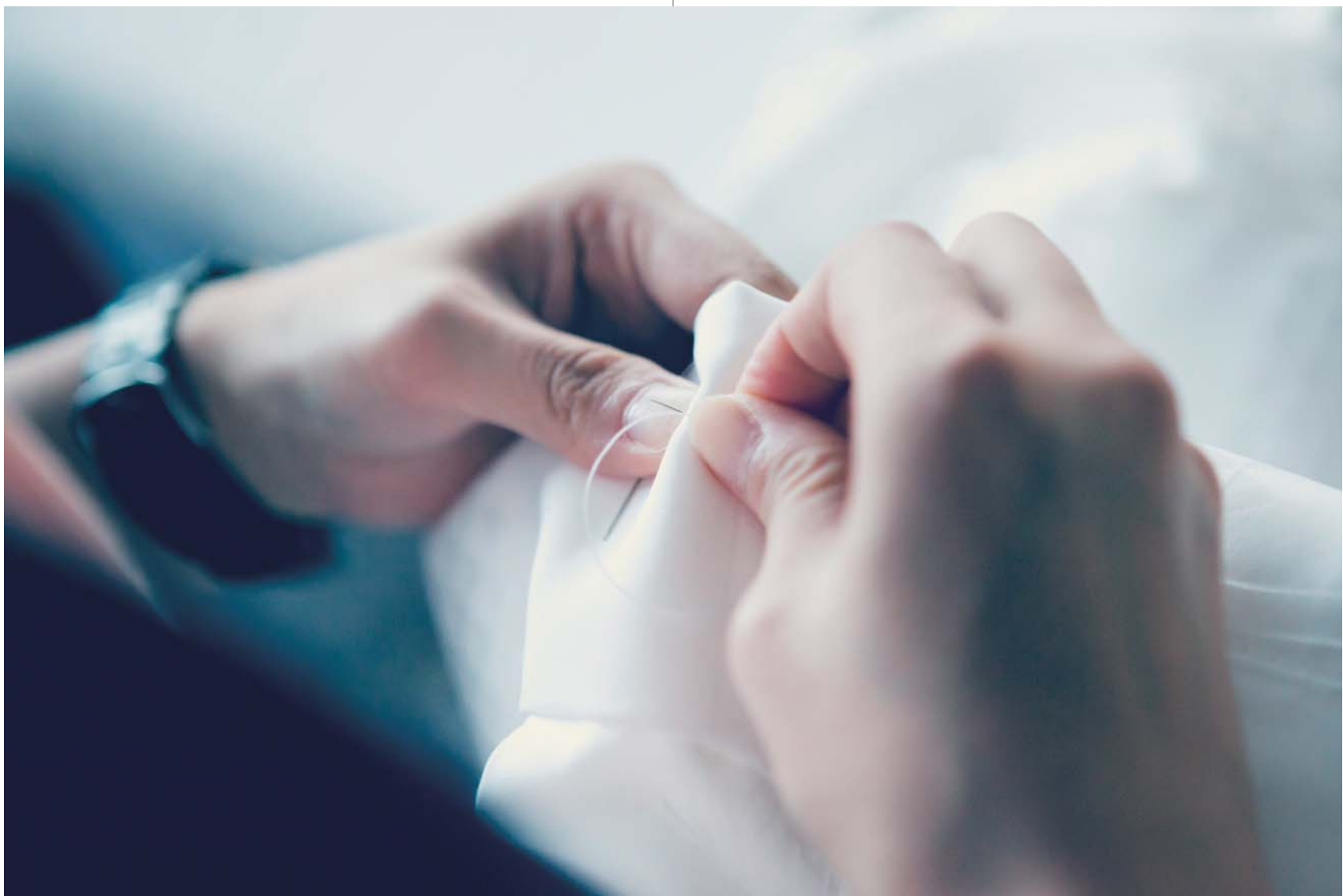
WEB SITE

最新のヘアスタイルから、情報満載のブログまで。トピックス満載のプロッソルWEB SITEを、ぜひご覧ください。

<http://www.prosol.co.jp>

原点 帰

Return to the source



美をつくりあげる、人を美しくするとはどういうことなのか？ 夏祭りや成人式のシーズンになると、プロッソルでは着付けをされるお客様でいちだんと賑わいます。非日常的な和装によって、女性が華やかに変身する瞬間に立ち会ったわたしたち。そこで、日本の美の原点を知りたいと、着物の仕立てが専門の株式会社勝矢和裁 勝矢珠容子さんを尋ねました。日本の伝統文化を継承する勝矢さんと、比較的新しい分野である美容業を営む三戸（プロッソル代表）。偶然にも一致した両者の原点と、その想いを紹介します。

人を育てることが、着物を縫う技術と文化の継承になる。

原点 帰



勝矢 珠容子

社 裁
会 和
式 矢
株 勝

着物を着ると表情やしぐさ、言葉遣いまで自然と変わってしまう。不思議な魅力を持つ着物を、昔ながらの手で縫い上げている会社が広島にある。和服の仕立てが専門の勝矢和裁。会長の勝矢珠容子さんが和裁のプロ集団をめざして会社を設立し、6年目で日本一の和裁士が誕生。現在まで大手販売店から個人客まで仕立てを請け負っている。業界の低価格競争を受け、海外に工場を建て軌道に乗っていた20年前、いつしか会社には和裁士が数名しか残っていなかった。国内縫製が廃れていってしまうことに勝矢さんは危機感を覚えた。ミシンの利点は頑丈に縫えること。手で縫う着物は、糸をほどくと何度でも仕立て直せるから、親から子へ引き継ぐことができる。「手仕事」と「仕立て」の価値。

勝矢さんは再び、原点に戻って和裁士を育てようと奮起した。着物を早くきれいに縫うことが技術の証という考えが誤りであったことを認め、社会人としても通用する人を育てることが大切だと改めた。そして「お客様によつては一生に一枚の着物かもしれない。いま持っている最高の技術と想いを込めて縫う。着物は生きもの。人が死んでも残るもの」と説く。女性の多い勝矢和裁では一人ひとりの生活に合わせた雇用を行い、在宅ワークを奨励している。和裁士が社会や家庭にすんなりとけ込み、力を発揮することで手縫い技術を伝えられるとの発想によるもの。和裁と暮らしが直結してはじめて、技術と文化の伝承につながるのかもしれない。

会社設立11年目、順風満帆だった勝矢さんを突然不幸が襲う。

会社の大黒柱だったご主人の死。慌ただしく葬儀を終え、失意のなか、大きな後悔が何日も居座っていた。それは、葬儀屋が用意した白装束でご主人を見送ったこと。無事三途の川を渡れただろうか、ご先祖様に笑われたのではないだろうかと悔やまれた。昔は死者が出ると家族や地域の人たちで白装束を縫っており、勝矢さんも縫ったことがあった。地域の習わしのつとめ、一針一針手で縫い、旅立ちの衣装として死者に着せて見送るのがかつての作法だった。

和裁のプロでありながら、家族の白装束のことまでは頭になかった。さらに、最後の旅立ちの衣装が既製品でいいのだろうか？と後悔が疑問へ発展し、同じような想いを誰にもしてほしくないと一念発

起してオリジナルの白装束を完成させた。生地は正絹にし、いわれにそつて和裁士が手縫いする。

旅立ちの仕度にオーダーメイドの白装束を準備してほしいと「SHITAKU」と名づけ、終活フェアなどのデビューに向けて準備を進めている。

「SHITAKU」を通じて手縫いの素晴らしさを知ってほしい。それが、「和裁の技術を後世に残すための使命」と勝矢さんはいう。勝矢さんに触発され、社内では和裁士によるブログを開始。生地によつて異なる技法や針の持ち方など、手縫いのこだわりを動画つきで解説している。着物には、表面に現れない細やかな気づかいと、昔から変わらぬ人の手による丁寧な技術が息づく。そして、わたしたちが先人から受け継いできた文化が融合し、奥深い美しさを放っている。

Return to the source



日本の伝統を手縫いで伝える、白装束「SHITAKU」の誕生。

PUBLICATION 2015

今期の実り、来期の育み

2014年度の成果を公表し、わかち合い、次へ進む。

現在、美容室7店舗を運営する三戸栄。経営者となった初年度から「経営発表会」を開いている。1回目はリーガロイヤルホテルの小会議室にて7名で始まり、年を経るごとに参加者は増え、21回目の今年は120名が同ホテルの宴会場に集まる。どんなに規模が大きくなっても三戸は1回目同様、自分で資料を作成し、発表プランを立て、本番に備える。

会社を設立した当初、会社とは何か？を勉強するうちに、企業理念や経営計画をつくる必要があることを知る。言葉や数字と格闘してそれらの更新を繰り返し、経営者としてのあり方を独自につくり上げた。経営は、具体的な売上目標や資金繰り、長・中期ビジョン、スタッフ育成など、知識の吸収と実践が同時進行になる。めまぐるしく変化する業界に身を置きながら、三戸は美容分野で貢献できる社会活動や、100年先のビジョンまで描き、着実に事業を拡大させている。一年の集大成である経営発表会。「プロツルの軌跡を客観視でき、ステージから参加者一人ずつと視線を交わすと感慨深く、また身も引き締まる」と三戸は語る。



三戸栄
プロツル代表取締役
毎年8月末に開催されるプロツル恒例の「経営発表会」。この会は、プロツルを運営する三戸栄による今期のふりかえりや売上げ・来期の方針・人事発表などを行うもの。全店舗のスタッフをはじめ、メーカーやディーラーなどの関係者も招待し、総勢120名がリーガロイヤルホテル広島に集結。三戸にとって、一年のうちでもっとも重要と位置づける会。その目的や経営者としての構想を一部紹介する。



三戸は普段からスタッフに夢やビジョンについて話し、意見を聞き、勉強会を開くなど、人を育てることに力を入れている。それは、会社とは？人としてのあり方とは何か？と自問自答を続けているから。そして、問いから導き出した答えのひとつが、いち社会人としての「スタッフを育てる」こと。育成を通して、事業を構築するうえで大切な社会性、独自性、経済性が育まれ、現在のプロツルの軸ができ上がったと自負する。

20期のスローガンは「我々一人ひとりがブランドです」。それぞれが技術を磨き、お客様が髪を切りたくなったらプロツルよりも担当者の顔を浮かべてもらえるよう、スタッフ全員にスローガンの意識づけをはかった。あえて抽象的にしたスローガンを一人ひとりが解釈し、どう行動に移すかが来期の力ぎとなる。

スタッフの成長には時間がかかることを三戸は長年の経験で知っている。それでも情熱を注ぎ、自分の考えをつねに伝え、スタッフとともに夢を実現させていく。経営発表会は、三戸の原点をスタッフと共有する場といえるだろう。



一人ひとりの成長が、会社の姿となって表れる。

育むプロッソルへ結実篇〉

2014年8月、トータルビューティーサロンとして宇品にオープンしたc a l m e。カットだけでなく、エステやネイル、アイラッシュなどトータルで美を提案するサロンの店長を任されたMALI。何が不安なのかどうかもわからないまま、あつという間の一年だったとふりかえる。「今までなかった美容室を」という代表三戸の想いを受け、この一年は新しいサロンのイメージ構築に取り組んだ。髪を切りに来たお客様に対し、その人の美しさを引き出すためにできることを考え、女性の「キレイに

健康で美しく、イキイキと。自分自身で体现する。

なりたい」という願望を叶えるための提案ができるサロンとして認知されつつある。スタッフがやりがいを感じながら働ける空間をつくるため、時には厳しく叱りながらもムードメーカーとしての本領も発揮するMALI。「健康で美しく」を自らが気負わず実践する姿が、スタッフやお客様を引きつける。美容室から進化した、トータルビューティーサロンの店長として出発したc a l m eが、これからのMALIを支える原点になるのかもしれない。

MALI/c a l m e 店長



自信を得て、大きく前進。このまま勢いに乗って。

ビューティ・コーディネーターという専門職がある。スタイリストなどの技術者とは異なり、カウンセリングをし、カットやネイル、ヘッドスパメニューを提案する、美容コンシェルジュのような存在。スタイリストと兼任で活躍する人が多いなか、西村理沙は広島でも数少ない、店舗専属のビューティ・コーディネーターである。c a l m eでは、まず西村のカウンセリングから始まり、カットであればそのお客様と相性の良さそうなスタイリストを紹介する。終了後、仕上がりの確認やケアの仕方、担当者の接客や技術に

ついての感想を聞く。そして情報をスタッフにフィードバックするまでが主な仕事。西村がこの仕事の手応えをつかんだのは、JBCA（日本ビューティ・コーディネーター協会）が開催する2014年の全国大会で、プロッソルが特別賞を受賞したことが大きい。c a l m eにしかできない「キレイになる」ための提案として接客する姿は、はつらつとしている。西村の若さと自信が追い風となり、c a l m eの躍進につながっている。

西村理沙/c a l m eビューティ・コーディネーター



読



む

短歌と文

枅野浩一

二年とちょっと所属していたお笑い芸人の事務所を、六月六日をもってやめてしまった。

体力と経済力の問題でシンドルに続けられなくなったただけなのだが、ひとつき半たった今も失恋したような気持ちから逃れられない。

短歌を漫才やコントに取り入れて、より多くの人に届けたいという人は言うほど突飛な欲望ではないと思うのだけれど、芸人事務所をやめて普通の歌人に戻ったことをむしろ歓迎する声も多く、その現実にも凹んだ。

詩人歌人と植田マコト、という長い名前のトリオとして事務所のトップのクラスにいた（お客様の人気投票で六クラスに分かれる）。トリオから私だけ抜けて「すつきりソング」というコンビになった。彼らと仲たがいをしたわけではないから、本日この文を書いたあと三人で久々にライブに出ることになっている。

物書きの歌人として先日、ほかの歌人たちとトークイベントに出演した。以前よりおしゃべりの力が増しているのは芸人活動の成果ではないかと、

お世辞とはいえ複数の方に言っていた。本当に少しでも成果があったのなら救いがある。私は「成長」をあまり信じていないところがあり、生まれつきのセンスがない人は努力しても無駄と
思いがちだ。

歌人としての弟子が私には一人だけいて、佐々木あららという頭脳明晰な男性歌人だ。彼はお笑いに関しては私の師匠的存在になる。「努力しても無駄だった」と言う前に、本当にあらゆる角度から適切な努力をしたのか考えたほうがいいと、彼には何度か示唆された。努力する方法を見つけるのも才能のひとつだと私は思う。しかし、たしかに先達に指導してもらおうという手もあるし、インターネットにだつて無料でノウハウが蓄積されている。

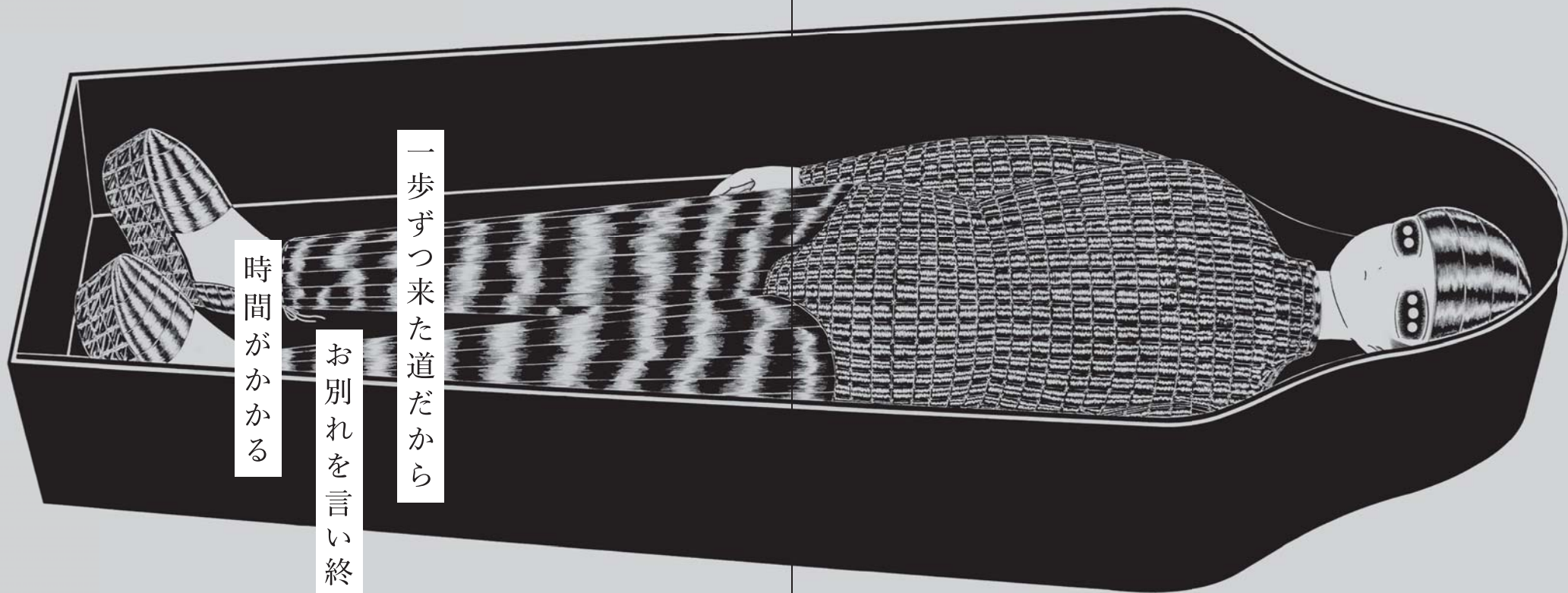
この二年間、自分にセンスがあるとは思えない「お笑い」に向かって、努力とも思わず夢中で活動していた。その「努力とも思わず夢中で」という部分にも秘密がある気がする。

また一歩ずつ進もう。振り返るのも忘れて。



ますの こういち
枅野 浩一

1968年生まれ。短歌集、小説、エッセイ、詩集など著作多数。高校国語教科書(明治書院)に短歌が掲載されている。「枅野書店」店主。近著『かんたん短歌の作り方』(ちくま文庫)は短歌はもちろん、表現することの奥深さが知れる一冊。
<https://note.mu/masuno>



1970年代に起こったボル・ポト政権下の大量虐殺により、国民の平均年齢が約27歳ともいわれるカンボジア。若い力があっても、その子どもたちを教育する大人の存在が、現在のカンボジアにはありません。わたしたちは、実際にカンボジアに赴き、現地での教育支援活動を4年前から行い、職業訓練校に通う若者にカットの技術をレクチャーしてきました。そして今年春、いち支援からさらに踏み込み、カンボジアに美容室「髪結」をオープン。日本や欧米のミドル層をターゲットにしたサロンではなく、現地に根付き、地元の人に受け入れられるサロンとしてスタート。2名のスタッフが



この新しいプロジェクトに挑み、活躍しています。「いずれはカットやシャンプー技術を教えるための学校を建て、現地の若者に未来の活路を見出してほしい」と、代表三戸栄が描く長期ビジョンのひとつが海外で始動しています。プロッソルの100年ビジョン（社是）の根底には、「わたしたちが行うビューティービジネスは平和の上にのみ成り立ち、女性が積極的にビューティーを取り入れ楽しむ社会は健全な社会である」があります。わたしたちは技術も人間性も磨き、日本に留まらず世界にも目を向け、美と平和を追求していく。これからも、プロッソルの冒険心あふれるチャレンジにご期待ください。



カンボジアに新店オープン。
現地での社会貢献活動から
本格始動へ。

「誰かのお役に立つこと」を企業理念のひとつとして掲げるプロッソル。
そんなわたしたちの活動が実ったプロジェクトをご報告します。

Propero

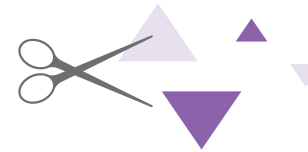
すべての
日本女性を、
美しく。
繊細で傷みやすい日本人女性の
髪のために開発された、
オーダーメイドのヘアケアプログラム。

A u j u a



「オージュア」シリーズについて、詳しくはこちらをご覧ください。 <http://www.aujua.com/product/>

PROSOL NEWS



JBCA全国大会にて、 特別賞受賞！

JBCA(日本ビューティ・コーディネーター協会)が開催する全国大会「ベスト ビューティ・コーディネーターアワード」が2014年11月に行われ、プロッソル calm が特別賞を受賞しました。エントリーされた全国のサロンがプレゼンテーションをし、そのなかから優秀なサロンとして高い評価を得ました。お客様のライフスタイルからメイク、ネイル、店販商品などをトータルでアドバイスする、ビューティ・コーディネーターのいる calm へ、ぜひお越しください。



9.18 Open

イオンモール広島祇園に、 ネイルの専門店オープン！

9月18日(金)にリニューアルオープンするイオンモール広島祇園。そこに、ネイル専門店「ネイルバー シュシュ」がオープンします。女性はもちろん、男性や子どもも買い物途中に簡単なケアやネイルが楽しめるお店です。ネイルには興味があるけど、まだ体験したことがない方は、ぜひ気軽にお立ち寄りください。



Nail Bar Shou Shou
広島市安佐南区祇園3丁目2-1 イオンモール
広島祇園1F
受付時間／9:00～21:00